

# 西町まちセン

ご存知ですか?まちづくりセンター

まちづくりセンターでは、町内会を始めとする地域のみなさんと連携しながら、さまざまなまちづくり活動を推進しており、地域課題の解決やコミュニティの活性化、ネットワークづくりに向けた取り組みをお手伝いしています。

今回のテーマは『地域で子ども達の夢を応援』です。

## 手稲宮丘小学校で児童とコンサドーレ札幌の選手が交流



昨年12月6日(火曜日)、手稲宮丘小学校(札幌市西区宮の沢3条2丁目、中橋理子(なかはし・のりこ)校長)で、12月3日にJ1昇格を決めたばかりのコンサドーレ札幌の選手と同校5年生の交流会が開催されました。

これは、コンサドーレ札幌と、練習場がある西町地区が共にまちづくりを進めるために設立した「西町・コンサ通りまちづくり実行委員会(原田光雄(はらだ・みつお)委員長)」が、選手と地域の交流事業の一環として開催したものです。

12月3日の今季最終戦前の11月29日には、同校5年生108人がJ1昇格祈願の応援メッセージを書き込んだユニフォームを古田寛幸選手に手渡ししており、今回の交流事業は選手から子どもたちへの応援に対するお礼の意味も込められていました。

今回参加したのは、コンサドーレ札幌から日高拓磨選手、岩沼俊介選手、イ・ホスン選手の3人と、同校5年生の108名全員。



11時30分から体育館で行われた交流会では、J1昇格を祝した花束が児童代表から各選手に贈られた後、子どもたち全員が選手を相手にトラップとパスを体験しました。プロの選手が蹴り出すパスに、サッカー少年団に所属する



男の子は「正確さとボールのスピードに驚いた」と目を輝かせていました。

その後、場所を教室に移し、子どもたちは選手と一緒に給食を食べました。子どもたちは「彼女いるの」「好きな歌手は」など色々な質問をしたり、韓国出身のイ選手に流行の日本語を教えたりするなど積極的に交流し、教室は終始笑い声に包まれていました。

**【まちセン所長のコメント】**  
コンサドーレ札幌、「2012 いざ J1 の舞台へ! 赤と黒の闘士たち!」

## 手稲東小学校「心の見守隊」



👉 おはようございます。見守り中です。

市内の小学校で3学期が始まった1月17日(火曜日)、手稲東小学校(札幌市西区西野4条3丁目、櫻井忠(さくらい・ただし)校長)は、西野中立町内会(宮崎隆(みやざき・たかし)会長)と連携して、毎朝、子どもたちの登校を見守る「心の見守隊」活動を始めました。

これは、青少年の規範意識の低下が叫ばれていることに危機感を持った同校が、地域や家庭と連携して子どもたちの健全育成に取り組もうと考え、町内会に呼び掛けて実現したものです。櫻井校長によると、市立小学校では警察官OBなどによる「スクールガード」が見守り

活動を行っているが、町内会と共同で実施する例は珍しいとのこと。同校はこの活動を脚がかりに地域住民との接点を増やし、児童の情操教育に役立てていきたいと考えており、名称にも「心」という字を入れました。見守り活動は「できる人ができるときに」という方針で、教職員を含め毎日10人ほどが学校周辺の交差点や歩道沿いに立って児童の安全確認やあいさつなどの声掛けを行っています。

町内会の宮崎会長は「元気よくあいさつを返してくれることで、子どもたちに元気をもらっている気分。日頃、子どもたちとの接点が少ないから楽しいね」と笑顔で話していました。

登校してきた2年生の男の子は「知らないおじさんおばさんでも、元気よくあいさつすると気持ちがいい」と照れ臭そうな笑顔を見せていました。

### 【まちセン所長のコメント】

地域と小学校が連携した見守りの必要性の大事さを改めて認識しています。

## ふれあい雪んこ祭り



👉 寒い中、熱く燃えたお祭りでした。

2月25日(土曜日)、手稲宮丘(ていねみやのおか)小学校(札幌市西区宮の沢3条2丁目)グラウンドで、「第26回西町連合町内会ふれあい雪んこ祭り」が開催され、西町地区にある3(手稲宮丘、手稲東、西園(せいえん))小学校の子どもたちを中心に、幼児からお年寄りまで約300人が集まりました。

この催しは、地域の人々が集まり寒い冬を元気に過ごそうと、西町連合町内会(白崎光彦(しらさき・みつひこ)会長)が、西町地区社会福祉協議会、青少年育成委員会や子ども会の協力を得て開催したものです。

雪がちらつくなか、始めに行われた「おせん喰い競争」は、フラフープをぐった後、ぶら下がっている煎餅を口で取って

ゴールまで駆け抜けるというもの。「幼児の部」では、よちよち歩きの幼児たちのほほ笑ましい姿に、会場には笑いと拍手が広がりました。「子どもの部」では小学生たちがコースを全力疾走し、息を切らせている子の姿も多く見られたほか、大人の部では、恥ずかしそうにしながらも一所懸命に煎餅を取ろうとする大人たちの姿が、会場の笑いを誘っていました。

「幸運のみかん拾い」は、スタートの合図とともに雪中のみかんを取りに行き、ゴール後にみかんに書かれた番号で景品が当たるくじ引きが行われるというもので、抽選結果に一喜一憂する子どもたちの姿が見られました。ほかにも、玉入れや綱引きが行われ、子どもたちはもちろん大人たちも皆歓声を上げながら楽しんでいるようでした。

最後には、町内会の女性部が心をこめて作った豚汁が振る舞われ、参加者らは「おいしい」「最高!」などと声を上げながら冷えた体を温めていました。

参加した手稲宮丘小学校3年の男子児童は「友達と雪の上を走りまわって楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

### 【まちセン所長のコメント】

参加された皆さん朝早くからお疲れ様でした。